

よえもん

-Yoemon-

今月のことは、

こんにちは！
 いよいよ夏本番ですね。
 水分補給をしっかりと！

2013年8月 第4号

シリーズ 第3回 よえもんさんと米子の町

米子とは、現在の鳥取県米子市のことです。
 小川村(高島市安曇川町上小川)で生まれ育ったよえもん
 と米子とは、どのような関わりがあるのでしょうか。
 1616年、よえもんさんは7歳の時、おじいさんの養子
 となり、米子で暮らすこととなります。武士として、
 中江家を継ぐためです。

故郷から遠く米子の地で暮らすことは、心細り
 ことだったでしょう。しかし、よえもんさんは勉学に
 励み、おじいさんの代筆をして、仕事を助けていた
 と伝えられています。

現在、米子市にはよえもんさんがおじいさん達と
 暮らしていた家跡に石碑が立ち、その傍らには
 近江の生家から株分けされた藤の樹を見ることが
 できます。



書・洲田瑞穂さん
 出典・藤樹先生全集二

邪の願ひを捨て
 とぶむべし
 習ひて性に
 なりやせんもし



邪な願ひがあっても、あえて心に
 とどめておくといいたいでしょう。そよがき、かけ
 となり、学習を続けていけば、性(良知)になら
 ずともよいだろうから」という意味の和歌です。
 良知とは、誰もが生まれた時から持っている
 清らかな心のことです。これが俗において、どん
 どん曇ってしまいます。もし、邪な願ひが心に
 浮んだとしても、忘れずに心の片隅に持ち
 続けて下さい。やがては、その心が

き、かけとなり、良知を曇らせ
 ている様々な欲をめぐって、
 清らかな状態に戻すことも可
 能だということです。
 「忘れてしまえば終わり」では
 ないでしょう。



了俊に負けない弛まぬ努力

7月30日、「了俊てらこや小学校」を開校
 しました。最終日の8月8日まで6日間の授業
 日を行いました。子どもたちは、主に「論語の
 素読・毛筆習字・ものづくりを学習します。
 この学校は、藤樹先生の門人で、持ち前の勤勉さと弛まぬ
 努力により、のちに伊予の郷里で名匠とたたえられた大野
 了俊の生きざまに習い、古来の学習法である「読み」「書
 き」の大切さを体得させることを目的にした学校であるの
 で、「了俊てらこや小学校」と命名しました。

子どもたちが了俊のように頑張ってくれることを期待します。

記念館さんぽ

陽明園へ藤樹門(扇型の門)
 から入ると、サルスベリの花が
 咲いています。
 ピンク色のかわいらしい花で、夏を代表する
 花木の一つです。
 サルスベリといえは、猿が登ろうとしても
 滑ってしまうツルツルの肌をした木で有名
 ですが、是非かわいらしい花も見て下さいね。



近江聖人中江藤樹記念館
 高島市安曇川町上小川69

TEL (0740)-32-0330
 FAX

西晋一郎博士の回顧展

閉
 催
 中